

青嵐中学校エリアにおける公共施設再編の基本的な考え方 ～保谷第一小学校複合化等に向けて～



開催：令和8年5月25日(月)、26日(火)/北町コミュニティセンター /午前10時～正午
令和8年5月29日(金)/下保谷福祉会館/午後2時～4時30分
令和8年5月30日(土)/下保谷福祉会館 /午前9時30分～正午

西東京市企画部公共施設マネジメント課

1 はじめに

- 「学校が地域のキーステーション」
- 地域では、多様化・複雑化する課題が生じている
- 多様な世代や属性の人が集い、交流できるよう学校と他の公共施設との複合化・多機能化・集約化(以下「複合化等」という。)を視野に施設を更新
- 学校周辺のまちづくりを推進

これらのことから、以下の理念を掲げました。



〈**学校を核としたまちづくり**〉

1 はじめに

《複合化等検討の背景》

第3次総合計画

- 学校を核としたまちづくり
- 学校が地域のキーステーション

学校には、多様な世代や属性の人が集う「きっかけ」や、災害時における防災拠点などの多様な機能がある

公共施設等総合管理計画

- 公共施設の複合化等を積極的に検討
- 現存敷地の有効活用
- 財政負担の軽減・平準化

公共施設の老朽化が大きな課題

公共施設再編計画

- 公共施設再編の方向性
- 公共施設の適正配置
- 学校教育機能との標準的なサービス機能の整理

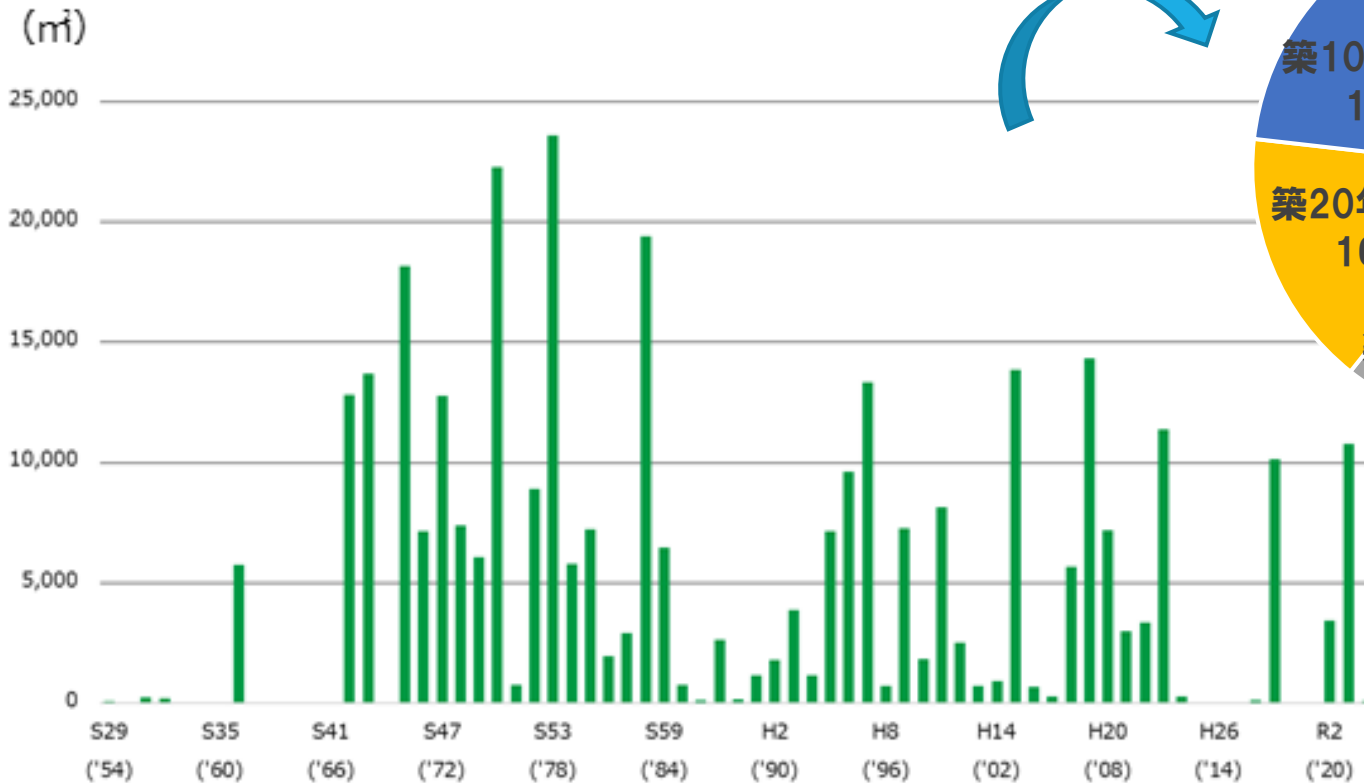
学校施設との複合化等の推進

各計画の考え方にに基づき、公共施設の複合化等を検討しています。

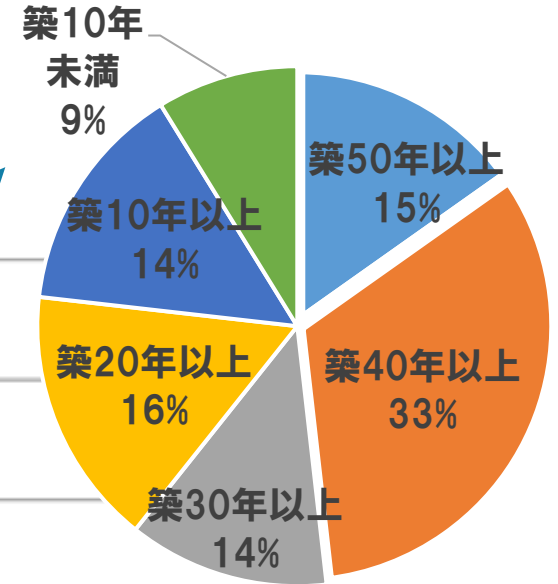
2 公共施設の現状

01 公共施設の老朽化

市の公共施設は、高度経済成長期の急激な人口増加により、昭和40年代から昭和50年代までにかけて教育施設を中心に整備が進められました。



< 築年別施設整備量(総延床面積) >

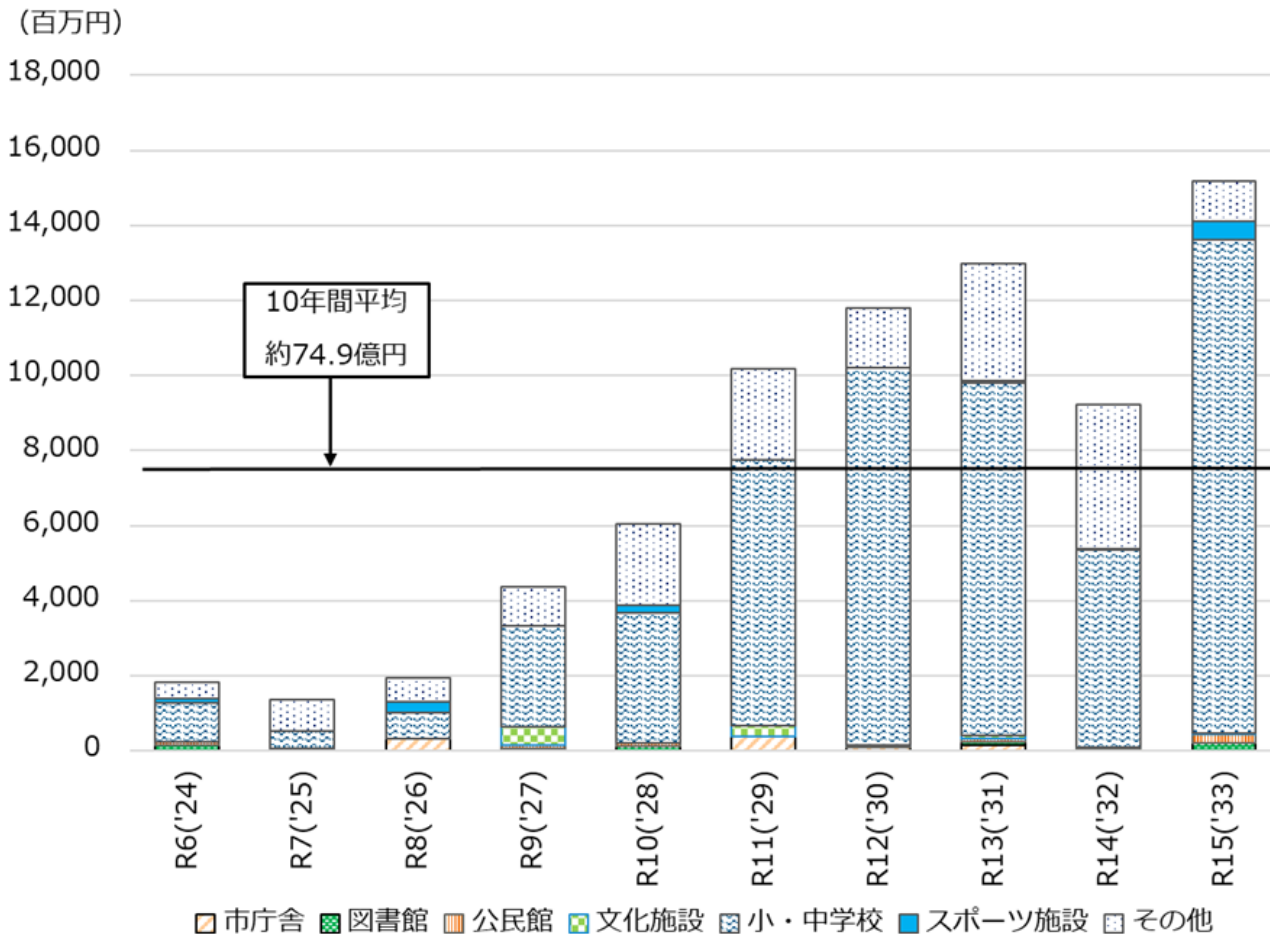


※構成比の表示単位未満を四捨五入しているため、内数の計が100%とならない場合有

この頃に整備された公共施設の多くが 今後一斉に更新時期を迎えます。

2 公共施設の現状

02 公共施設の将来見通し(費用)



< 公共施設の更新等費用推計 >

- 市所有の公共施設の更新等を行った場合の推計

※既存の公共施設を単純に維持管理・更新した場合

- 今後10年間の更新等に係る

費用 **約749億円**

(約75億円/年)



近年は1年あたり

40~60億円台で推移

3 青嵐中エリアにおける公共施設の現状と方向性

01 青嵐中学校通学区域の公共施設

令和15年度までに耐用年数を超過する、又は既に超過している施設、早期に取り組む課題のある施設を再編の「**優先検討施設**」として位置付けています。

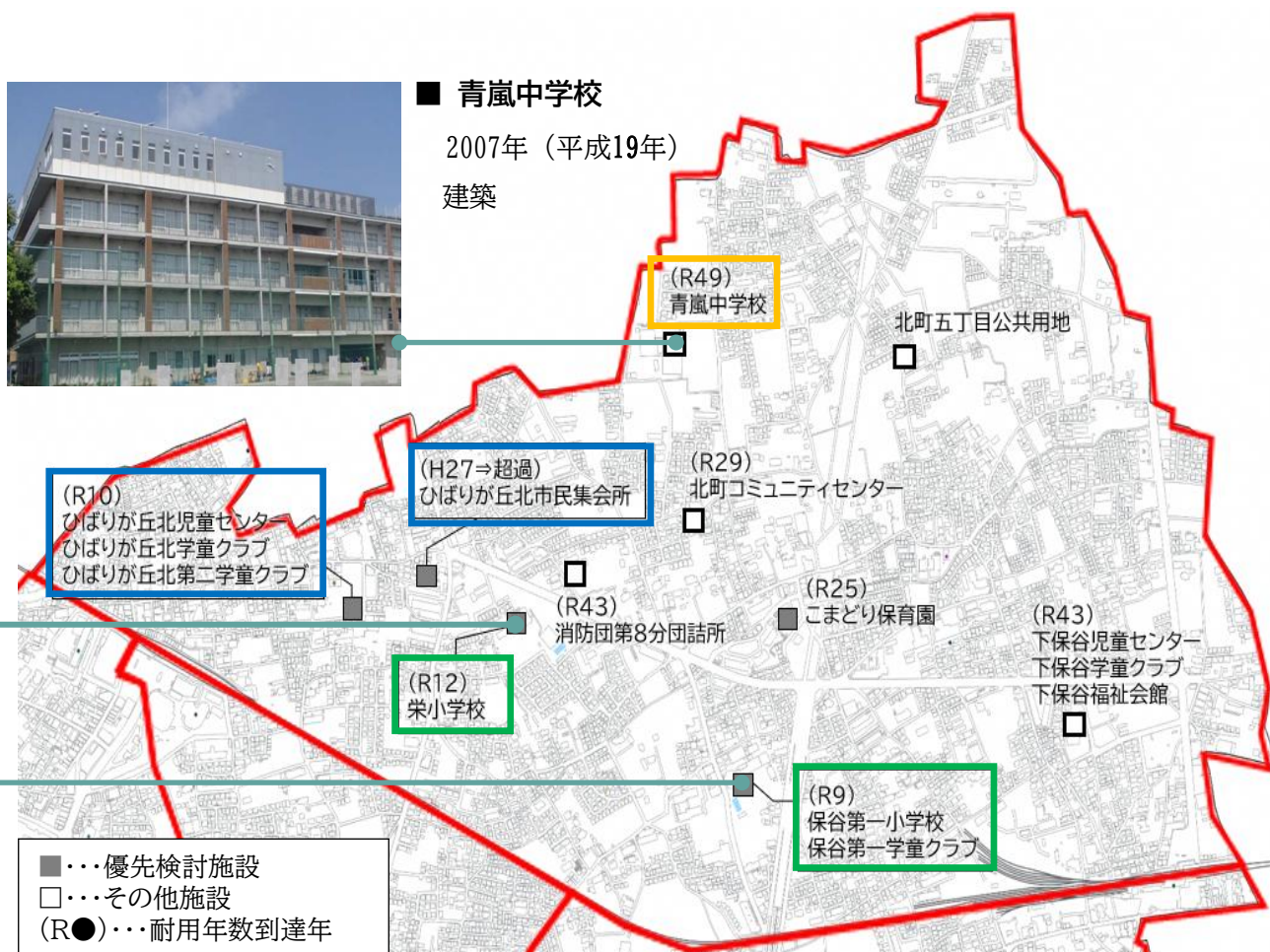
■ 栄小学校

1970年（昭和45年）建築



■ 保谷第一小学校

1967年（昭和42年）建築



3 青嵐中エリアにおける公共施設の現状と方向性

02 学校施設と複合化等を検討する他のサービス機能の考え方

行政又は公共施設に関わりのある団体向けのヒアリングやアンケート、市民参加による意見等を踏まえて、学校施設と複合化等を検討する標準的なサービス機能を次のとおり整理しています。

学校施設との複合化等を検討する標準的なサービス機能

「行政機能」、「貸館機能」、「子ども・子育て支援機能」、
「保育機能」、「図書情報機能」、「文化機能」、「スポーツ機能」

その他の機能を有する施設については、その施設の適正配置の状況や耐用年数、今後の市民意見等を踏まえて、施設再編について検討することとします。

3 青嵐中エリアにおける公共施設の現状と方向性

03 エリア(圏域)における取組の推進

- 身近な相談窓口の設置による「相談機能の強化」
- コミュニティの形成・活性化のための「コーディネート機能の充実」
- さまざまな人や主体が交流するための年齢を問わない「居場所の確保」
- 誰もが生きがいや、つながりづくりができる「社会参加の機会創出」

04 公共施設の適正配置

< 適正配置の考え方 >

施設分野	適正配置の考え方
図書館	将来的に求められる図書館のあり方（機能・役割など）を踏まえ、地域館の役割を整理したうえで検討
公民館	他の公共施設を利用した主催講座の実施やオンライン講座など、身近な場所でのサービス提供が可能となるように、生涯学習における支援体制の充実を図る
市民交流施設	誰もが身近に集える居場所として、小学校通学区域に1か所程度を配置しつつ、地域型交流施設については、エリア（圏域）に概ね1か所程度を配置
児童館	18歳未満の児童の居場所として、中学校通学区域に1か所程度を配置
学童クラブ	児童が安全・安心に通える環境づくりのため、小学校内に配置することを基本とし、定員超過率が著しい場合は、小学校の余裕教室の活用や小学校建替え時における学校内への整備等により対応
保育園	基幹型保育園（地域子育て支援センター併設の保育園）については中学校通学区域に1か所を配置
高齢者福祉施設	福祉会館・老人福祉センターについては、高齢者の健康相談や健康の増進、教養の向上等に資する施設として、その他の施設の活用も視野に中学校通学区域に概ね1か所の配置

3 青嵐中エリアにおける公共施設の現状と方向性

< 青嵐中学校通学区域における適正配置の状況 >

施設分野等		配置されている施設	適正配置の状況	
				地域型市民交流施設の配置
市民交流施設	保谷第一小学校	—	△ 空白	△ なし
	栄小学校	北町コミュニティセンター ひばりが丘北市民集会所	△ 重複	○ あり
児童館		下保谷児童センター ひばりが丘北児童センター	△ 重複	
基幹型保育園		—	△ 空白	
福社会館等		下保谷福社会館	○ 適正	



現状では、市民交流施設について、保谷第一小学校通学区域内で空白、栄小学校通学区域内で重複配置となっています。

また、児童館は重複、基幹型保育園は空白配置となっています。
ひばりが丘北市民集会所耐用年数を超過しているため、栄小学校の更新に併せて今後検討していきます。

4 青嵐中エリアにおける再編の基本的な考え方

< 保谷第一小学校との複合化の検討(庁内検討案) >

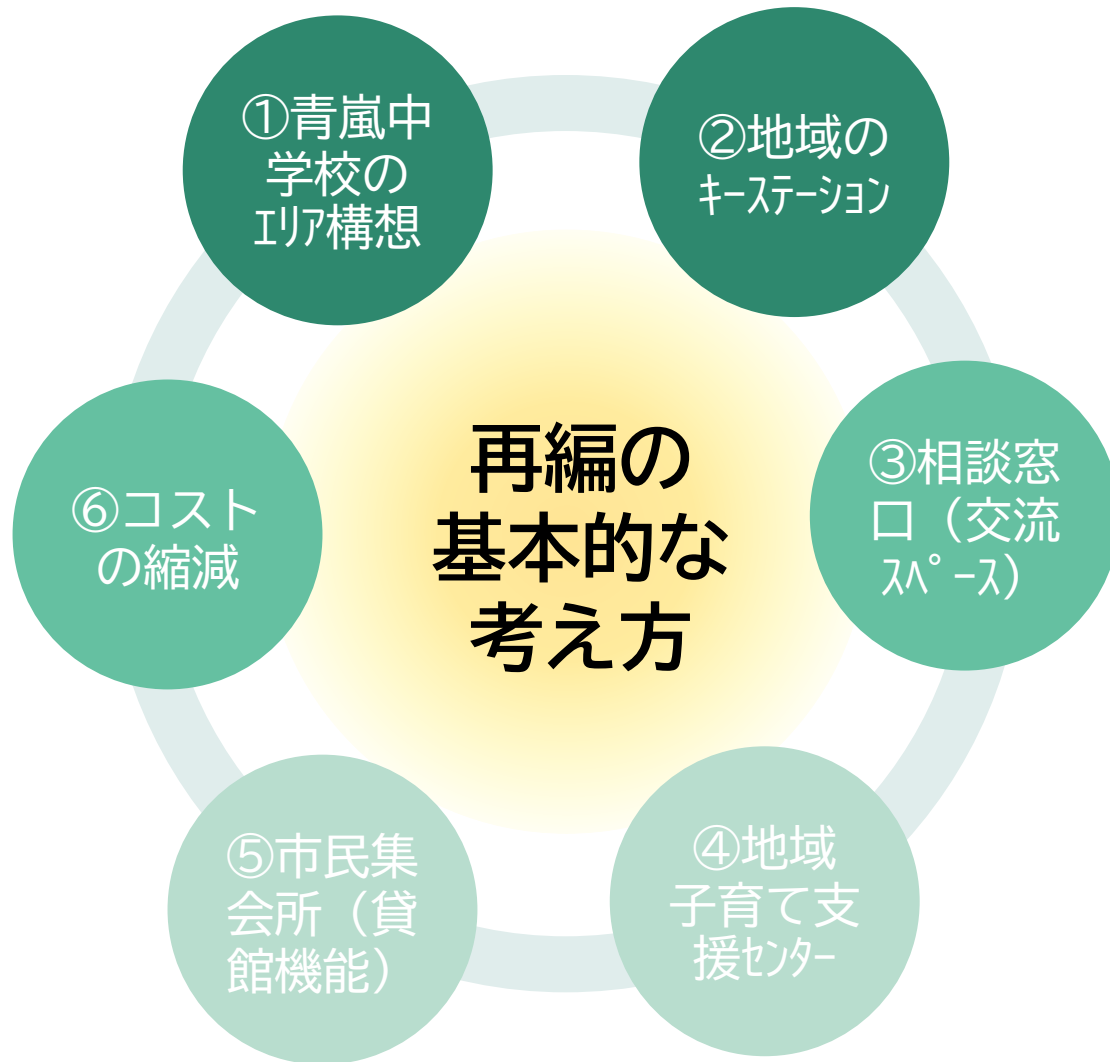
	施設名	再編優先検討	学校との複合化等効果	保谷一小複合化等
1	保谷第一学童クラブ (保谷第一小学校)	●	●	○
2	下保谷学童クラブ 下保谷児童センター 下保谷福祉会館		●	○
3	ひばりが丘北児童センター ひばりが丘北・北第二学童クラブ	●	●	
4	ひばりが丘北市民集会所	●	●	
5	こまどり保育園		●	
6	(地域子育て支援センター)		●	
7	北町コミュニティセンター		●	
8	消防団第8分団詰め所			
9	相談窓口・交流スペース・包括		●	○
10	集会所(貸館機能)		●	○

優先検討施設であるが、栄小学校通学区域の施設であることから、栄小学校の更新と併せて、改めて検討します。

現状のこまどり保育園において地域子育て支援センターの運用を検討します。

地域型交流施設は小学校通学区域に1か所程度配置します。

4 青嵐中エリアにおける再編の基本的な考え方



- ① 青嵐中学校を将来的なエリアの核施設として想定し青嵐中学校の建替えを見据えてエリア構想を検討
- ② 先行して建替えを迎える保谷第一小学校及び栄小学校において地域のキーステーションとしての機能を確保
- ③ 青嵐中エリアの実情を踏まえ、相談窓口(交流スペース)は学校施設の内、先行して建替えを行う保谷第一小学校に整備し、相談機能の充実を早期に実現
- ④ 基幹型保育園の空白対応は、現在のこまどり保育園において地域子育て支援センターの運用を図る。
- ⑤ 小学校に市民集会所(貸館機能)や居場所を確保
- ⑥ 複合化等に当たっては、ライフサイクルコストの縮減を図るため、共有部の共有化等を検討する。

4 青嵐中エリアにおける再編の基本的な考え方

保谷第一小学校の複合化等へ反映

<保谷第一小学校と複合化を想定する施設>

施設・機能	既存延床面積	想定必要延床面積	備考
保谷第一小学校	6,105㎡	約8,411㎡	敷地面積：11,767㎡
保谷第一学童クラブ	122㎡	約670㎡	左記必要面積から共用部の縮減を図る
下保谷学童クラブ	142.1㎡		
相談窓口・交流スペース	—	約400㎡	駐車場、駐輪場を有する
栄町地域包括支援センター	28.8㎡	約150㎡	駐車場、駐輪場を有する
集会所（貸館機能）	—	約76㎡	駐輪場を有する※
防災備蓄倉庫	47.8㎡	約65㎡	
合計	約6,446㎡	約9,772㎡	

5 複合化等を想定する施設

01 保谷第一小学校

築59年



- 児童の居場所の確保と心身の健全な育成のため、学童クラブを整備
(保谷第一学童クラブ、下保谷学童クラブを複合化)
- 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための総合支援のため、地域包括支援センターを整備(栄町地域包括支援センターを複合化)
- 空白地域解消に向けた様々な方が活動できる拠点づくりのため、集会室を整備(新設)

5 複合化等を想定する施設

02

保谷第一学童クラブ(保谷第一小学校)

築59年



【児童の居場所の確保と心身の健全な育成】

児童の放課後の遊びと生活の場を確保するため、小学校内に必要規模の学童クラブを整備した上で、過密化の解消も図る。集団遊びや自由遊びなど、自主的に活動ができる居場所として整備する。

5 複合化等を想定する施設

03

下保谷学童クラブ(下保谷児童センター、下保谷福祉会館)

集約化



【児童の居場所の確保と心身の健全な育成】

児童の放課後の遊びと生活の場を確保するため、小学校内に必要規模の学童クラブを

整備した上で、過密化の解消も図る。集団遊びや自由遊びなど、自主的に活動ができる居場所として整備する。

5 複合化等を想定する施設

04 栄町地域包括支援センター(保谷苑)



機能移転



【高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすための総合支援】

高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らしていけるよう、関係機関や地域の方々と協力して、地域づくりを進める。専門職員が相互に連携を図りながら、地域包括ケアシステムを推進する。

アンケートのお願い

保谷第一小学校の複合化等の検討に当たり、市民の皆様からのご意見を募集しています。

「市が考える複合化等の方向性についてのご意見」

「複合化等に際して、気を付けてほしいことや期待すること」
など

率直なご意見をお待ちしています。今後、いただいたご意見を踏まえて、複合化等の検討を進めていきますので、ぜひ、ご協力をお願いします。

アンケートのお願い

※上記2次元コードをスマートフォン、タブレット等で読み込み
いただき、回答をお願いします。

※アンケート締切日:令和8年5月31日(日)まで

【本件に関するお問合せ先】

西東京市企画部公共施設マネジメント課

☎:042-420-2800(直通)

✉:manage@city.nishitokyo.lg.jp

※ 本件について、学校へのお問合せはご遠慮ください。



NISHITOKYO